

豪雨災害

救援カンパにご協力を！

異常気象で日本列島は半端ない豪雨の被害に見舞われました。この災害で亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災された皆さんにお見舞いを申し上げます。

社民党は「2018年7月豪雨災害対策本部」を立ち上げ、被災自治体とも連携しながら現地視察し政府に申し入れるなど、一日も早い復旧・復興にとりくみます。あわせて被災地の救援・復旧を支援するための緊急救援カンパをとります。ご協力をお願いします。

安倍政権の対応は、あまりにもくずば

政府 自民党はふざけてる！、危機管理もできない安倍政権 自民党の宴会騒ぎ、安倍首相は災害対応より己の総裁選の方が大事だということさらけ出しました。

そしてまた、災害時のために緊急事態条項を盛り込む憲法改正が必要と宣う。何を寝ぼけているのか！自民党の危機管理意識のなさに怒りを感じます。

緊急事態条項なんかなくても、現状の災害予防・災害応急・災害復旧に関する法律、災害対策基本法、災害救助法、土砂災害防止法等などで十分対応できると、専門家は口をそろえて言っています。安倍政権はそれらの法律を使うこともできないのでしょうか。

もともと「国民の命と財産を守る」防災に

税金を有効に使ってほしい

この間、安倍晋三首相が海外でばらまいた金額は18兆円にも及んでいます。その中には「イギリス」日立が原発を作るにあたって1兆円の資金援助も含まれています。

今回も外遊しようとしたけれど、足止めされました。「外遊で国民が納めた税金をばらまいてんじゃないよ」の声は届いていません。

皆さんは、昨年の九州大水害の時に活躍したレッドサラマンダー（1台11億1千万円、全地形型対応の消防車両、一般車両が進入困難な場所での救助活動などに従事できる）をこ存じでしょうか。日本には、愛知県岡崎市に1台あるだけです。今回の災害でも岡山県で大活躍していると報道されています。

一方、6月12日の米朝首脳会談で朝鮮半島および東北アジアの平和を構想する第一歩がスタートしました。

国民は、平和外交で日朝国交正常化にもちと力を注いで5兆円の防衛費を抑え、災害に備えた国づくりを願っています。

防衛費の中にはアメリカの言いなりの値段で買わされる



2階まで水没した岡山県倉敷市真備町

社民党埼玉県連合 2018年7月豪雨災害義援金について

被災された方への義援金、生活再建を目標とし、8月18日にそれまで集約されたものを広島県に直接届け、その後に集約されたものは、日本赤十字社を通じて復興支援等に活用します。

なお、集約金額及び用途についてホームページで報告します。

社民党

社民党埼玉県連合 発行責任者 松澤悦子
さいたま市浦和区高砂3-37-5 電話 048-822-2171